

万博記念公園の森を探訪 レポート

(1970年大阪万博が日本の都市を変えた)

講師 吉村元男氏 (万博記念公園 自然文化園設計者、風景造園家)

日時 2018年12月8日 (土曜日) 13時から16時30

(14時30から16時レクチャー)

主催 日本建築家協会大阪建築部会 樹木と街分科会

参加者 17名 資料 吉村先生のレジメ「千里丘陵の変遷」「破壊から自然の再生へ」

場所 万博記念公園の森 探訪「自然文化園」レクチャー「民族学博物館セミナー室」



■水路が流れる上津道を歩く



■もみじ川から芝生広場を見る



■民族学博物館にてレクチャー



■森と原っぱの境界



■ソラードから自然文化園の森



■夕日に映える太陽の塔

1970年万博跡地につくられた森と博物館とそして残された塔

持続可能な生物多様性社会に向けた文明、都市のあり方についての提言。

1、自然文化園 生物多様性のある回遊式風景庭園 共棲 (自然と人類)

2、国立民族学博物館 多様な文化の共存世界 平和 (多様な文化)

3、太陽の塔 宇宙とその生命の誕生 生命 (宇宙と生命)

このような森の体験をわずか2時間で出来る自然文化園はぜひ子どもたちに見せてあげたい場所です。よく訪れる場所がこのように違って感じられることに驚きました。吉村先生の語る「物語」がぼくたちにこのような風景のささやきを聞こえるようにしてくれているのかもしれない。

吉村先生ありがとうございました。

(文章 塚口明洋、写真 青砥聖逸)